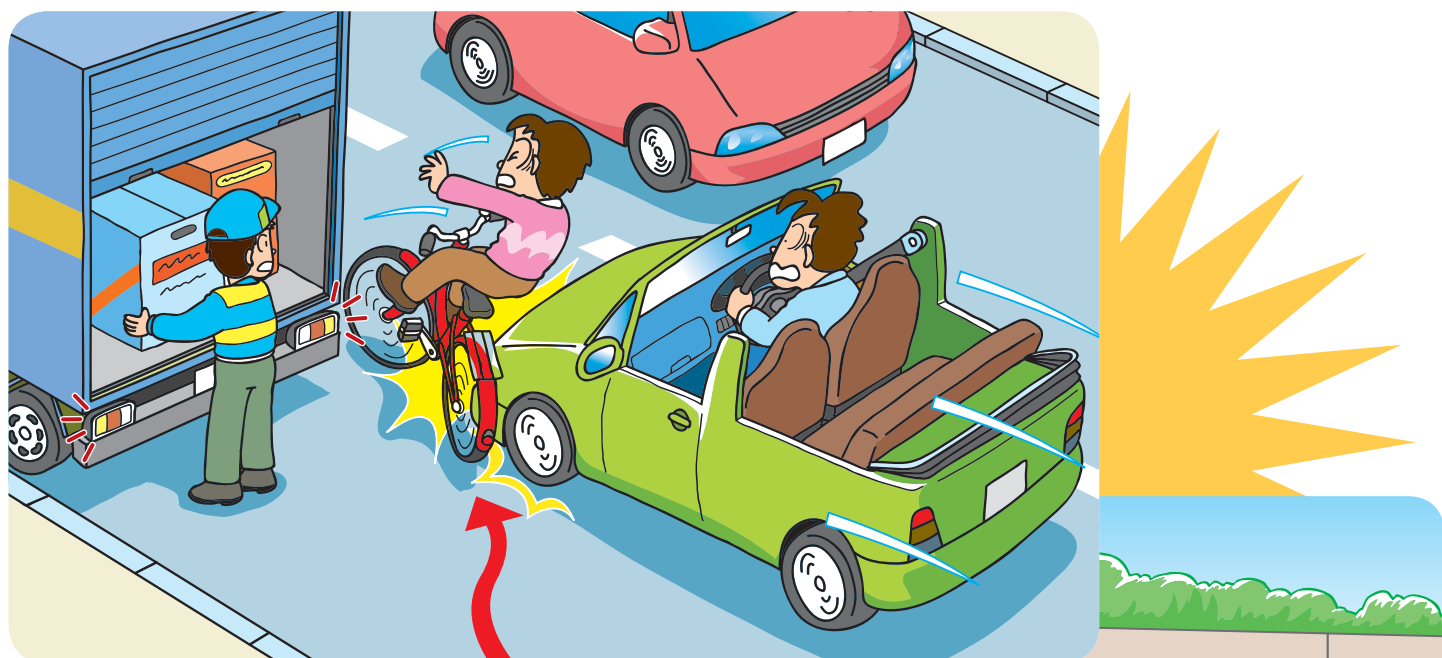


知っていますか？

# 自転車の事故

～安全な乗り方と事故への備え～



# こんな事故が起きてい

## ■自転車事故の発生状況 ~主な要因は安全不確認、一時不停止、信号無視~

交通事故データから、自転車事故の実態や原因を見てみましょう。

### ■ここ数年交通事故件数に占める自転車事故件数の割合は、2割程度と高い水準で推移！ 自転車事故による死傷者は、4割が若者と子ども！

平成24年の自転車乗用中の交通事故件数は13万2,048件で、交通事故件数に占める割合は19.9%と前年に比べ減少したものの、未だに2割と高い割合で推移しています。また、自転車乗用中による死傷者数は13万1,762人と交通事故全体の死傷者数に占める割合は15.9%と高い数値を示しており、このうちの4割を若者と子どもで占めています（図1、図2）。

図1 自転車事故件数・死傷者数の推移

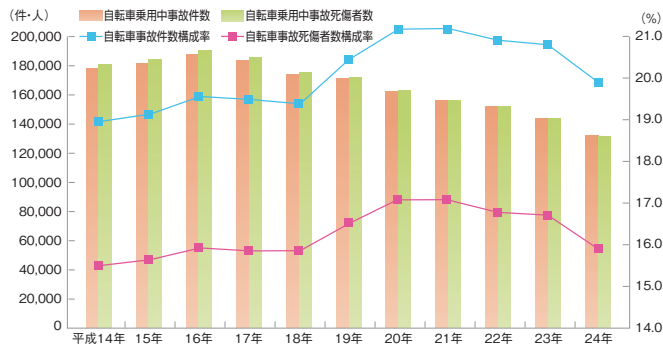
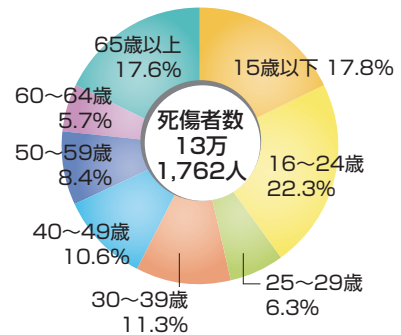


図2 自転車乗用中の年齢層別死傷者数の割合(平成24年)



### ■自動車との事故が8割以上！ 出会い頭、右左折時での事故が多い

自転車事故の8割以上が自動車との事故です（図3）。また、事故類型としては出会い頭による事故が圧倒的に多く半数以上を占め、次いで右左折時の衝突と続きます（図4）。自動車との事故は、大ケガや死亡など重大事故につながる危険が大きい。自転車事故の被害事故は11万1,157件（※注）で、自転車事故全体の84.2%を占めています。

※注 13万2,048件（自転車事故全体）- 2万891件（第1当事者事故）= 11万1,157件

図3 自転車乗用者 相手当事者別事故件数の割合（平成24年）

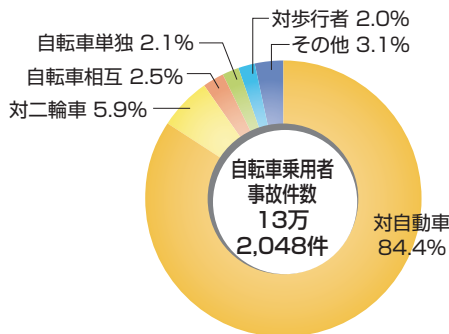
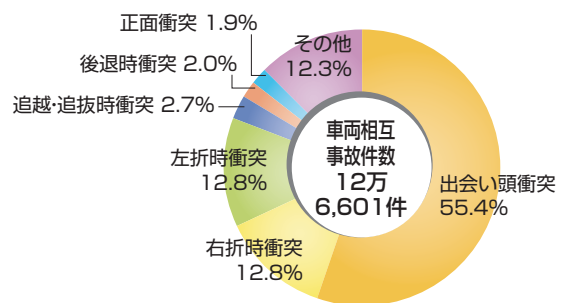


図4 自転車乗用者 事故類型別事故件数の割合（車両相互 平成24年）

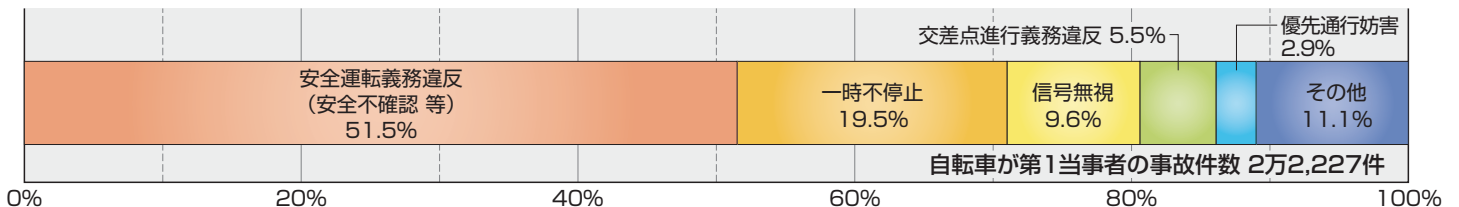


### ■自転車による加害事故は2万2,227件！ 自転車事故全体に占める割合は15.4%！（平成23年） 事故の主な原因は、安全不確認、一時不停止、信号無視！

自転車が加害事故を起こす主な要因は、安全不確認、一時不停止、信号無視です（図5）。また、最近は歩道を無秩序に通行する自転車による事故も多発しており、高額な賠償責任を負う場合もあります。

図5 自転車の法令違反別交通事故件数の割合（第1当事者（※） 平成23年）

（※）第1当事者とは過失の最も重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害の程度がより軽い当事者をいいます。



※上記図2~5の構成率は、警察庁の統計数値をもとに小数点第2位を四捨五入していますので、合計が100.0%にならない場合があります。

（図1~4：警察庁データより作成／図5：「交通統計 平成23年版」（警察庁交通局）平成24年7月発行参照）

# まず！ 自転車事故の実態

各地で多発している自転車事故。被害事故だけでなく、加害事故も発生しています。最近の自転車事故の発生状況や事例を見ながら、その実態を探ってみましょう。

## ■ 自転車事故のパターン

～自転車は「軽車両」、被害者だけでなく加害者にも～

自転車は道路交通法では、自動車と同じ“車両”！ 車両として交通ルールを守らなければなりません。ルールを守らず事故を起こすと自転車側も責任を問われます。ここでは、自転車事故の主なパターンについて紹介します。

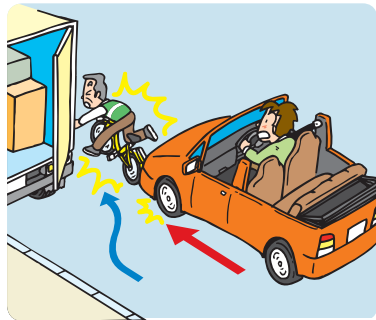
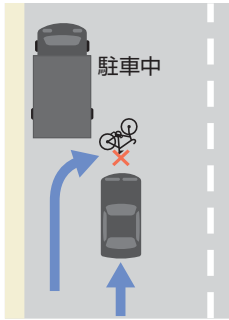
### 安全不確認（急な進路変更）

#### ● 事故の概要

道路の左端を走っていたAさんは、路上駐車した車を避けようと反射的に車道側にハンドルを切ったところ、後ろから来た乗用車が避けきれずAさんは前方に投げ出され大ケガを負いました。

#### ● 事故の原因

第一原因は乗用車の注意義務違反ですが、Aさんが後方の安全をよく確認しないまま、急に進路変更したことが事故の大きな原因です。



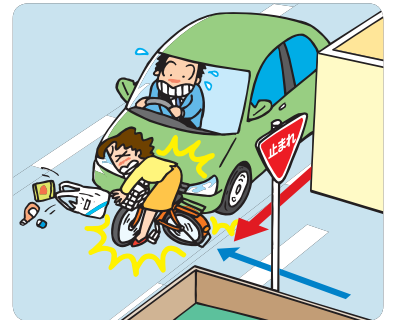
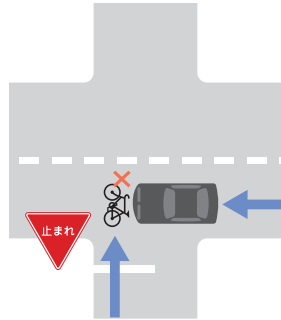
### 一時不停止

#### ● 事故の概要

信号のない見通しの悪い交差点に主婦Bさんが自転車で進入したところ、乗用車と出会い頭に衝突。Bさんは腕の骨を折る大ケガを負いました。

#### ● 事故の原因

乗用車側の注意義務違反もありますが、Bさんが、一時停止の標識・標示を無視して、左右の安全確認をしないまま飛び出したことが大きな原因です。



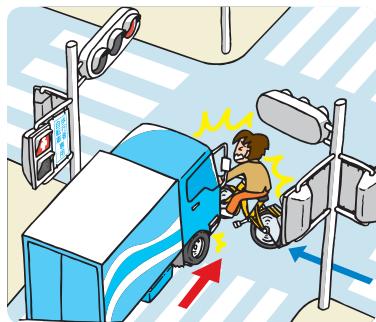
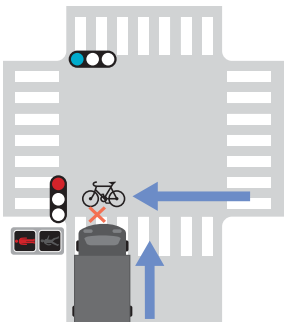
### 信号無視

#### ● 事故の概要

高校生C君は赤信号を無視して交差点に進入。そこに走ってきたトラックと出会い頭に衝突し頭に大きなケガを負いました。

#### ● 事故の原因

トラックの前方不注意も事故の要因ではありますが、この場合、C君が赤信号を無視して交差点に進入したことが大きな原因です。



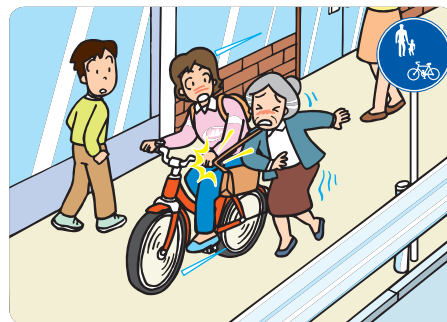
### 歩道上での歩行者との接触

#### ● 事故の概要

女子大生Dさんが、自転車通行可の歩道上を自転車で走行中、おばあさんのバッグのひもがハンドルにからまり、転倒したおばあさんは、意識不明の重傷となりました。

#### ● 事故の原因

Dさんが、歩道の車道寄りをいつでも止まれる速さで走っていないことが、大きな原因です。



※歩道上の歩行者との接触事故は、自転車側に100%責任が求められる可能性が高くなります。

交通ルールを守らないと加害事故の原因になるばかりでなく、被害事故に遭う危険性を高めることにもなります。自分だけは大丈夫と思わず、交通ルールを守って事故のない社会をつくりましょう。